

議会活性化のための提言・要望事項「検討結果一覧」(H27・28)

提言・要望事項	検討結果(当面の方向性)
◎「ひらかれた議会」に関する事項	
<p>情報発信の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会だよりの充実(児玉) ・議会活動の積極的な発信(布施谷) 	<p>【結果】</p> <p>H28. 7. 6 広報常任委員会と総務課との懇談会を実施。</p> <p>下記について平成29年度予算要望を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般質問ページを1人1ページに増 ・研修会への全委員の出席 ・二色刷り
<p>情報公開の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Facebook 等、ソーシャルネットワークシステムの有効利用(山本光) 	<p>【結果】</p> <p>Facebook の運用</p> <p>H27. 11. 26より開始。</p> <p>広報規程の確認・見直し</p> <p>広報常任委員会で、毎年行うこととし、全協等で意見聴取し、情報公開の推進を図る。</p>
<p>傍聴者増へ向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会一般質問において傍聴人を増やす。あるいは一般質問の光景の映像ビデオやCDを貸し出すサービスを始める(小林民) 	<p>【結果・継続】</p> <p>映像貸出</p> <p>需要について町民アンケート及び議会報告会でのアンケートを踏まえて検討する。</p> <p>今年度、もしくは町側の実施に併せアンケートを行う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・議会傍聴の促進、新聞での取材協力(湯本) 	<p>【結果】</p> <p>取材協力等は現状の通りとする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・傍聴規則の見直し(受付住所氏名の廃止、児童、乳児の入室解禁、バリアフリー化、手話通訳など(高田) ・傍聴者増へのアプローチ、記帳の廃止(児玉) 	<p>【結果】</p> <p>傍聴規則の見直し</p> <p>H28. 10. 27付で規則の変更を公布。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場し易さを目的とする(第7条4削除) ・傍聴カードの廃止(第4条削除) ・意見カードの内容変更 <p>障害者差別解消法に基づく施設の改善等</p> <p>町側へ文書にて要請していく。</p>

<p>・議会中継の検討(インターネット中継等)(児玉)</p>	<p>【結果・継続】 アンケート結果を踏まえ検討していく。 H28. 10. 19～20 新潟県上越市議会・柏崎市議会の取り組みについて管外視察を実施。</p>
<p>議会報告会の工夫 ・パワーポイントを使いわかりやすく(高山)</p>	<p>【結果】 H27年度(第9回)報告会より試験的に実施しており、より本格的な利用を行う。</p>
<p>・報告会に工夫を(徳竹)</p>	<p>【結果】 意見交換会を実施。 6項目を選出した「議会に取り組んでほしいこと」を掲示板化し、シールを貼付してもらうことで参加者の意思表示・意見聴取を行った。</p>
<p>・議会報告会の継続開催(児玉)</p>	<p>【結果】 報告会実施要綱により毎年開催を行う。</p>
<p>住民意見の反映・政策立案 ・議会報告会などで住民からの意見や要望を起点に、議会と住民が協力して政策立案に取り組む(布施谷) ・住民意見反映のシステムづくり(徳竹) ・政策サポーター制度の導入(児玉) ・産業活性化策の提案(観光・農業それぞれ一件程度)(小林克)</p>	<p>【結果・継続】 H29. 1. 18 飯綱町議会への視察を実施。 政策サポーター制度の導入も含め検討していく。</p>
<p>・議会に関する町民アンケートの実施(西)</p>	<p>【結果】 町民アンケート実施に合わせて行う。 ・H29. 3月スポーツ推進計画アンケート(教育委員会所管)と同時に行う。</p>

<p>◎「議会運営」に関する事項</p>	
<p>通年議会の検討 ・会期の見直し(高田、徳竹)</p>	<p>【結果・継続】 H28. 10. 19～20 新潟県柏崎市議会・阿賀町議会の取り組みについて管外視察を実施。</p>
<p>反問権制度の充実 ・反問に対する議員答弁時間の加算(西)</p>	<p>【結果】 H28. 12. 21から施行する。 ・反問に対する回答時間を1回当たり最大1分間付与(経過時間の掲示等なし) ・反問1回につき連続3回までとする。</p>

	<p>・全体での回数制限は設けない 町側へ、反問権の取り扱いについて通知。</p>
<p>夜間休日議会の開催 ・多様な人材の参画、傍聴者増(望月、高田、児玉)</p>	<p>【結果・継続】 アンケート結果を踏まえ検討していく。 H29. 1. 18 飯綱町議会への視察を実施。</p>
<p>体制の強化 ・議会事務局の増員(山本光)</p>	<p>【結果・継続】 業務内容を精査する。</p>
<p>・一括質問、一括答弁の他に一問一答式の選択 (望月)</p>	<p>【結果】 現行のとおり、一括質問、一括答弁とし、再質問は一問一答方式で行う。</p>
<p>・ICT の積極的活用(ペーパーレス化、採決に活用、賛否の見える化)(高田) ・タブレット所持による情報の共有化・迅速化及び省資源化(高山)</p>	<p>【結果・継続】 H28. 10. 19～20 新潟県柏崎市議会の取り組みについて、管外視察を実施。</p>
<p>・模擬議会の開催(児玉)</p>	<p>【結果】 子ども議会 H28. 11. 21に開催。</p>
<p>・本会議において質疑等の回数制限の撤廃(児玉)</p>	<p>【結果】 会議規則のとおり3回までとするが、議長の許可がある場合はこの限りではない。</p>
<p>・通告制度の廃止(児玉)</p>	<p>【結果】 議場での混乱を招く恐れがあるため通告制度とする。</p>
<p>・公聴会、参考人制度の活用。</p>	<p>【結果】 請願・陳情について、委員会での公聴会、参考人等積極的に制度の活用をする。</p>
<p>・議会活動の評価制度(高田)</p>	<p>【結果・継続】 内部外部評価制度の検討を行う。</p>

◎「議会・議員活動」に関する事項	
<p>・決算審査特別委員会の審査日数増および現地調査(渡辺)</p>	<p>【結果】 決算審査特別委員会 所管バランスを考慮し、調査項目の按分化を行う。 審査日数 審査日を3→4日に増やす。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・決算審査特別委員会の3部会化(湯本) 	<p>現地調査 行うことができるものとする。</p> <p>部会 公平性を考慮し、2部会として実施。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・議運(活性化)の視察研修の実施(西) ・管内視察の回数増(徳竹) 	<p>視察 H27年度より実施。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・予算審査特別委員会 	<p>【結果】 決算審査特別委員会と同様とする。</p>
<p>研修会・研究会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会の開催や講演会への参加の年間計画化(小渕) ・人口問題、地方創生に対する研究会開催(湯本) ・政策提案のための研修会開催(高田) 	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上の研修会を実施する。 H27クリーン選挙に関する講習会を実施。 H28活性化研修会を実施。 ・年度当初に年間計画を策定し、毎月見直し・追加を行う。
<p>共通課題についての議員間討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数議員による研究会(議員と町民の共通課題を持つ)(小林民) ・懸案事項に対する議員間討議(渡辺) ・大きな共通課題について、議員間の自由討議(徳竹) 	<p>【結果】 議会全員協議会開催申出書により議員間討議を行う。 先例集に記載する。</p>
<p>議員個々の積極的な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Facebook や個人紙等の活用で議員個々の発信増(布施谷) ・地域活動への積極的参加(意見・課題の常時把握)(小渕) 	<p>【結果】 議員個々が積極的に努力する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・審議会等への選出廃止(高田) 	<p>【結果・継続】 先例集の見直しに併せて協議していく。</p>

<p>◎その他事項</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・議員のなり手増のための環境整備(児玉) 	<p>【結果・継続】 多様な年代・職業の議員構成となれるよう、報酬・定数をはじめ環境整備を随時協議していく。</p>